

リリムジカは「心をこめた音楽」という意味。「介護と音楽」をテーマに役に立つ情報をまごころこめてお届けします。

## 楽器の活用方法 (生活に音楽を取り入れる効果 その4)

介護施設に楽器が置いてあるのをよく見かけます。ただ「楽器は倉庫に眠っているよ」とお聞きすることもあります。そこで今回から数回にわたって、どうすれば楽器を活用できるかについて書きます。

そもそも歌の時間で楽器を使うメリットは何でしょうか？1つめは曲の雰囲気良くなること。たとえば「東京音頭」を太鼓と共に歌えば、太鼓がないときと比べてグッとお祭りっぽくなります。2つめは参加できる方法が広がること。声が出せず歌えない方でも楽器があれば場に参加しやすくなります。楽器には叩いて鳴らすもの、振って鳴らすもの、はじいて鳴らすもの、いろいろな種類があります。参加される方本人の能力に応じて選ぶことができます。



介護度の重い方でも楽器を使えば一緒に音楽を楽しめることがあります

では、これらのメリットを活かすために現場ではどのような工夫をしたら良いのでしょうか？1つめは楽器の選び方、2つめは楽器の渡し方、3つめは楽器の鳴らし方です。次回以降のリリムジカ通信でこれらについて解説していきます。

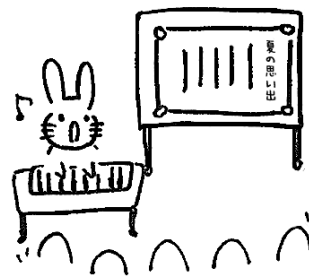
リリムジカ通信のバックナンバーはホームページでご覧ください♪

### Q&Aコーナー

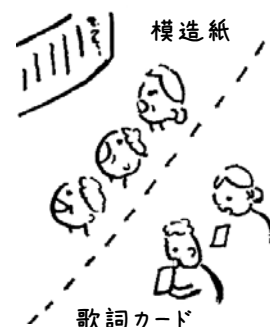
歌った後は必ず利用者さんに質問しなければいけないのですか？

「夏と聞いて思い浮かべるものはありますか？」「この歌どなたが歌ったかご存知ですか？」1曲歌った後に音楽の場の進行役が質問している姿をよく見かけます。質問はたしかに有効なツールです。利用者さんから今まで聞けなかった話を聞けることもあります。しかし利用者さんに心地よく楽しんでいただきたいときは、質問はしすぎない方が良いでしょう。人には自分から話をしたいときもあれば話したくないときもあります。質問が多すぎると場のテンポも悪くなります。歌い終わったあとに何か話したそうな方がいたときや自分自身が心から聞きたいと思ったときに、ぜひ質問してみてくださいね。

うさ子の奮闘記 第5話  
「模造紙の歌詞を使うワケ」



セッションでは模造紙に歌詞を書いてはります



理由は皆さんが前を向いて歌えるようになるから



利用者さんと一緒に模造紙に歌詞を書くのも良いかも



マジックが腕につかないように気をつけて

私(作者)は2回もやりました...

## リリムジカの導入は職員のモチベーションにも好影響 (特養さんへのインタビュー)

介護職員は食事・排泄・入浴といった日常の介護に追われがちです。定期的に行われるリリムジカの音楽の場は、職員が利用者さんとじっくりコミュニケーションを取る機会になります。「日常の介護以外の時間も大事だ」という考えを施設が積極的に示すことは意欲のある介護職員のモチベーション維持にもつながります。

(神奈川県川崎市 特別養護老人ホーム かないばら苑 川内 潤さん)

